

社会科学科

教育基本方針

情報化、国際化の急速な進展によって、未来に対する予測がますます困難になってきた社会環境の中で、自ら世界と人の動きをよく見聞きし、考え、新たな未来を切り開いていく行動力を持った人物を育むことを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針

甲南大学では、学生一人ひとりの天賦の特性を啓発し、人物教育率先の甲南学園建学の理念を実現することを目的としています。社会科学科の教育基本方針のもと、卒業必要単位数130単位以上(基礎共通科目又は国際言語文化科目18単位 外国語科目8単位 保健体育科目2単位 専門教育科目102単位以上)を修得し、次の能力・資質を身につけた学生に学士(社会学)の学位を授与します。

- (1) 自ら率先して社会に貢献し、社会人に求められる責任感と倫理観を意識することができ、自らを律し、他者と協調・協働することができます。
- (2) 天賦の特性を自ら伸ばして活用する意志と能力を有しています。
- (3) 人文科学・自然科学・社会科学に関する基礎的教養、自己の能力・資質を社会生活で活用し得る基本的な技能及び自己の健康増進に関する技能を有しています。
- (4) 国際的教養に裏付けられた世界に通用する行動力を有しています。
- (5) 社会学・人類学の諸分野に関する知識と常識を有しています。
- (6) 多様な社会文化現象を読み解き、自らの考えを適切な手段によって表現し、他者に伝える力を有しています。
- (7) 的確な問いをたてて問題解決を図る意志と能力を有しています。

教育課程編成・実施の方針

文学部社会科学科では、卒業認定・学位授与の方針に掲げる能力・資質などを修得させるために、基礎共通科目、国際言語文化科目、外国語科目、保健体育科目、キャリア創生共通科目、専門教育科目及びその他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習若しくは実技のいずれか又はこれらを適切に組み合わせた授業を開講します。特に、文学部及び本学科では、①学生一人ひとりの顔が見える少人数クラス、②基礎・応用・発展の積み上げ方式による段階的学修、③研究リテラシー、問題解決能力、専門分野の知識の3本柱による系統的学修の考え方で教育課程を編成し、実施します。

また、卒業認定・学位授与の方針と各科目の関係性及び到達目標を示すカリキュラムマップ、カリキュラムの体系性・系統性を示すカリキュラムツリーを提示し、カリキュラムの構造をわかりやすく明示します。

カリキュラムは、各科目において学生が修得したGPA及び、到達目標に定める学生の知識・能力の修得状況を集計し、その集計値を検証することにより見直し・改善を行います。

教育内容、教育方法、学修成果の評価については以下のように定めます。

1) 教育内容

- (1) 初年次における基礎演習を必修とし、基礎的な読解力および表現力を育成します。
- (2) 外国語によるコミュニケーション能力や異文化理解について学ぶ科目、心身両面の健康に対する配慮を学ぶ科目、情報を読み解く力について学ぶ科目を配置します。
- (3) 全学共通科目である、建学の理念と専攻分野以外の領域を含む幅広い基礎的な知識を学ぶ基礎共通科目、異文化理解について学ぶ国際言語文化科目を配置します。
- (4) 少人数のゼミで質問力や問題解決能力などの社会人基礎力を育成します。
- (5) 専攻分野に関する知識及び論理的思考力を習得するため、初年次段階から年次進行に合わせて段階的に高度化する専門科目を体系的に配置します。
- (6) 各自の天賦の特性と専攻分野に関する知識を社会でどのように生かしていくのかを考えるとともに、社会で活用できる力を身につけるため、キャリア教育並びにキャリア形成支援を1年次から4年次まで継続的に実施します。
- (7) 地域連携講座科目を通じて、地域の中で自己と他者を総合的に捉える力を養います。
- (8) 卒業研究により、在学中に学んだことを集大成します。

2) 教育方法

- (1) 講義、演習、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により授業を実施します。
- (2) 論理的思考力、伝えたい内容を適切に表現し伝達する能力、問題解決力を養成するとともに、他者と協調・協働し、自ら率先して社会に貢献し、社会人に求められる責任感と倫理観について学ぶために、学生一人ひとりの顔がわかる少人数で学生参加型の実習・演習などを重視したクラス編成を行います。
- (3) 授業の実施においては、考える力や洞察力を涵養するために、発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習、グループ・ディスカッション、ディベートなどを中心としたアクティブ・ラーニングを積極的に活用します。
- (4) 成績評価をGPAで表示するとともに、学位プログラムごとの到達目標と各科目の関係性を明確にし、知識・能力の習得状況を学修ポートフォリオを通じて学生にフィードバックします。

3) 学修成果の評価

学生の学修成果についての評価方法を各科目のシラバスで示し、その方法に従って評価します。

カリキュラムマップ

到達目標

対応する卒業認定・学位授与の方針(学科)の番号

A	的確かつ有益な問いを立て、その解決を図る意思と発想をはぐくむ。	(7)
B	既成の情報や旧来の常識を批判し、新しい視点や考え方を打ち出す姿勢をはぐくむ。	(3)(5)(6)
C	多様な価値と文化を理解・共感し、他者に関わる感性と協働する姿勢をはぐくむ。	(4)(5)(6)
D	少人数での対話型教育に基づき、総合的(ジェネリックな)思考力を培う。	(1)(3)(5)(6)
E	野外調査、メディア制作、具体的な課題解決など(アクティブ・ラーニング)を介して、実践的行動力を培う。	(6)(7)
F	論文執筆や研究制作により、学びの成果を集大成する。	(5)(6)(7)
G	専門諸分野における理論を学び、頑健に思索する力を身につける。	(5)(6)
H	専門諸分野における方法を学び、明晰に分析する力を身につける。	(5)(6)
I	現代社会が抱える諸問題を理解し、普遍かつ不偏に行動する力を身につける。	(1)(2)(5)(6)(7)
J	関連領域の学問を修め、幅広い教養を培う。	(3)(5)
K	メディアリテラシーや外国語運用能力を高め、グローバルなコミュニケーション能力を培う。	(4)(6)
L	個人と学問と社会の結びつきを理解し、社会人・職業人・生活人としての倫理ならびに行動力を培う。	(1)(2)(3)(5)(6)(7)

専門教育科目表 (社会学科)

[2019年度(平成31年度)の入学生に適用]

授業科目名	単位数	配当年次	到達目標													
			A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L		
必修科目	研究法入門演習	2	1	○			○	○				○			○	
	社会調査基礎演習	2	1	○			○	○				○			○	
	共通演習	2	2	○	○	○	○	○								
	ゼミナール1	2	2	○	○	○	○	○								
	ゼミナール2	2	3				○	○		○	○	○				
	ゼミナール3	2	3				○	○		○	○	○				
	ゼミナール4	2	4				○		○	○	○	○				
卒業研究	8	4				○		○	○	○	○					

以上22単位必修

基本科目	社会人間学	2	1		○					○		○	○			○
	社会学概論	2	1	○	○	○				○		○	○			○
	文化人類学	2	1	○	○	○				○	○					
	多文化共生論	2	1	○	○	○				○	○		○			
	社会心理学	2	1		○	○				○	○	○				
	社会意識論	2	1		○	○		○		○	○	○				
	社会調査法	2	1	○				○		○	○					○
	家族社会学	2	1	○	○	○				○		○				○
	社会人口論	2	1		○	○				○		○				○
	文化社会学	2	1	○	○	○				○		○				
	コミュニケーション研究	2	1	○	○					○	○	○				
	メディア研究	2	1	○	○					○	○	○				
	NPO/NGO論	2	1	○	○					○	○	○				
都市空間論	2	1	○	○					○		○				○	
阪神文化論 I	2	1		○	○						○	○			○	
阪神文化論 II	2	1		○	○						○	○			○	

㊤以上のうち18単位以上選択必修

応用領域	計量社会学	計量社会学	2	2	○			○	○		○	○				
		社会統計学	2	2	○			○	○		○	○				
		フィールドワーク研究	2	2	○				○			○	○			○
	ライフスタイルと政策	現代家族論	2	2	○	○	○				○	○	○			○
		ライフコース論	2	2		○	○				○		○			○
		生活福祉論	2	2		○	○				○		○			○
		福祉事業論	2	2		○	○				○		○			○
		社会・集団・家族心理学	2	2		○	○						○	○		○
	教育・学校心理学	2	2		○	○						○	○		○	
	文化と共生	比較文化論	2	2		○	○				○			○	○	
		社会運動論	2	2	○	○	○				○		○			
		市民社会論	2	2			○				○		○	○		○
		社会人類学	2	2		○	○				○			○	○	
		融合フォーラム(ジェンダー)	2	3・4		○	○				○		○			○
	現代思想	2	3		○	○				○		○			○	

授業科目名		単位数	配当年次	到達目標												
				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	
応用領域	くらしと地域	考現学研究	2	2	○	○			○				○	○		
		現代文化論	2	2	○	○					○		○	○		
		環境文化論	2	2	○	○					○	○	○			
		地域社会論	2	2		○					○		○	○		○
		観光文明学Ⅰ	2	3		○	○						○	○		○
		観光文明学Ⅱ	2	3		○	○						○	○		○
	ネットワーク組織と	ソーシャル・キャピタル論	2	2	○	○					○	○	○			
		社会ネットワーク論	2	2	○	○					○	○	○			
		集団組織論	2	2		○	○				○		○			○
		社会階層論	2	2	○	○					○	○	○			
		労働経済Ⅰ	2	2		○	○						○	○		○
		労働経済Ⅱ	2	3		○	○						○	○		○
	メディア表現とコミュニケーション	メディア文化論	2	2	○	○			○			○				○
		映像文化論	2	2		○	○				○	○	○			
		創作過程論	2	2			○	○	○				○		○	○
		情報社会論	2	2	○	○	○				○		○			
		芸術社会史	2	3		○	○						○	○		○
		サウンドスケープ研究	2	2		○	○						○	○		○

⑧以上のうち34単位以上選択必修

発展研究	社会調査実践研究	4	3	○			○	○	○		○				
	量的データ解析	2	3	○	○			○		○	○				
	発展研究A(社会理論の可能性)	2	3	○	○	○				○	○		○		
	発展研究B(ライフスタイルと政策Ⅰ)	2	3	○	○					○	○		○		○
	発展研究B(ライフスタイルと政策Ⅱ)	2	3	○	○					○	○		○		○
	発展研究C(文化と共生Ⅰ)	2	3		○	○	○				○		○		○
	発展研究C(文化と共生Ⅱ)	2	3		○	○	○				○		○		○
	発展研究D(くらしと地域Ⅰ)	2	3		○		○				○	○		○	
	発展研究D(くらしと地域Ⅱ)	2	3		○		○				○	○		○	
	発展研究E(組織とネットワークⅠ)	2	3	○	○	○				○	○		○		
	発展研究E(組織とネットワークⅡ)	2	3	○	○	○				○	○		○		
	発展研究F(メディアコミュニケーションと表現Ⅰ)	2	3				○	○	○		○			○	○
発展研究F(メディアコミュニケーションと表現Ⅱ)	2	3				○	○	○		○			○	○	

⑨以上のうち6単位以上選択必修

関連科目	日本史概説Ⅰ	2	2	○	○	○						○	○		○
	日本史概説Ⅱ	2	2	○	○	○						○	○		○
	アジア史概説Ⅰ	2	2		○	○						○	○		○
	アジア史概説Ⅱ	2	2		○	○						○	○		○
	西洋史概説Ⅰ	2	2	○	○	○						○	○		○
	西洋史概説Ⅱ	2	2		○	○						○	○	○	○
	日本史研究Ⅰ	2	2	○	○	○							○		○
	日本史研究Ⅱ	2	2	○	○	○							○		○
	アジア史研究Ⅰ	2	2		○	○						○	○		○
	アジア史研究Ⅱ	2	2		○	○						○	○		○
	西洋史研究Ⅰ	2	2	○	○	○							○		○
	西洋史研究Ⅱ	2	2	○	○	○							○		○
	人文地理Ⅰ	2	2	○	○	○							○		○
	人文地理Ⅱ	2	2	○	○	○							○		○
	法律学概論	2	2						○			○		○	○
	政治学入門	2	1		○	○						○	○		○
	政治学原論	2	2		○	○						○	○		○
	地誌Ⅰ	2	2		○	○						○	○		○
	地誌Ⅱ	2	2		○	○						○	○		○
	民俗学の諸問題	4	2	○	○	○							○		○
	自然地理学	2	2	○	○	○							○		○
	関西のことばと文学	2	2		○	○							○	○	○
IT応用	2	1						○			○		○	○	